

7月のほけんだより

～ 知って防ごう！ 热中症～

热中症になりやすい人

- * 暑さに慣れていない人
- * 体調の悪い人
- * つかれている人
- * 太りぎみの人
- * あまり体力のない人
- * 热がこもりやすい服を着ている人

热中症になりやすい場所

- * 気温が高くムシムシしているところ
- * あまり風がないところ
- * 直射日光のあたるところ

热中症になりやすい気象条件

- * 梅雨明けのむし暑い日
- * 異常に高い気温の日
- * 暑い日が続いたときなど

ノートルダム学院小学校

保健室

2008.7.1.

7月の

保健行事

7/2(水) 1年生 はみがき巡回指導

(歯科衛生士さんのお話)

熱中症

危険信号とは??

- * 体温が上がる
- * 体がだるい、体に力が入らない
- * 意識がはっきりしない
- * 頭が痛い
- * めまい、はき気、おうと
- * 皮ふが乾いている(汗をかかない)



热中症かな？と思ったら

- * 直射日光のあたらないすずしい場所で休む
- * 衣服をゆるめ、体を冷やす
- * 冷たいスポーツドリンクを飲む
- * 病院でみてもらう
→ 意識がはっきりしないときは、すぐに救急車をよぶ

予防するには??

- * できるだけうす着になり、直射日光にあたらない
- * 屋外では、ぼうしをかぶる
- * こまめに水分をとる(塩分も忘れずに)
- * 体調の悪い人は、運動をひかえめにする



紫外線のやけん



紫外線は、体の免疫力を弱めたり、シミ・しわ、皮膚癌、白内障などの原因になることがあります。紫外線は長い年月をかけて蓄積され、何十年もたってから、健康への悪い影響がでると考えられています。子どもは屋外で過ごす時間が長く、紫外線をたくさん浴びる機会があるので特に注意が必要です。

対策

- ①外で遊ぶときは、紫外線の強い時間帯(10~14時)をなるべく避ける
- ②日かけを利用する
- ③日傘を使う、帽子をかぶる
- ④衣服でおおう
プール学習のときは、ラッシュガードを着るとよいでしょう。
- ⑤海に遊びに行くときは、サングラスをかける
- ⑥日焼け止めクリームを使う

お家の方へ

①「健康の記録」について

7月中に「健康の記録」をお渡しします。クリアファイルなどに入れて、大切に保管してください。

②春の健康診断の結果について

お知らせ用紙をもらったけれど、まだ受診していない児童は、早めに専門医に受診し、報告書を学校に提出してください。

③麻痺(はしか)について

- ・はしかに罹患した場合、またはその疑いがある場合は、速やかに学校に報告してください。また、医師の許可がおりてから登校し、「登校許可書」を提出してください。
- ・学校から「はしか終息宣言」ができるまでは、お子様の健康状態に特にご注意ください。検温カードを毎日、学校に持たせてください。